



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月30日

上場会社名 株式会社ダスキン 上場取引所 東
 コード番号 4665 URL <https://www.duskin.co.jp/corp/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 輝治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 大久保 裕行 TEL 06-6821-5071
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	39,401	△2.0	2,315	28.9	2,819	23.0	1,848	14.8
2018年3月期第1四半期	40,218	△1.0	1,795	321.3	2,292	159.8	1,611	249.3

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 5,962百万円 (62.9%) 2018年3月期第1四半期 3,660百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	34.60	—
2018年3月期第1四半期	30.15	—

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年3月期第1四半期については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	191,844	152,623	79.4
2018年3月期	196,058	147,786	75.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 152,318百万円 2018年3月期 147,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	30.00	—	20.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期（予想）第2四半期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	81,100	1.0	4,200	△3.4	4,800	△8.5	2,900	△18.8	54.26
通期	163,000	1.2	7,900	4.5	9,000	0.2	5,400	1.4	101.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	55,194,823株	2018年3月期	55,194,823株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,749,222株	2018年3月期	1,750,262株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	53,444,803株	2018年3月期1Q	53,445,386株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年6月30日、以下「当第1四半期」という。）の我が国経済は、好調な企業収益を背景に、雇用情勢や所得環境は引き続き改善傾向にあり総じて回復基調で推移しました。個人消費も緩やかながら拡大しているものの、不安定な海外政治情勢等による先行きの不透明感が増し、踊り場に差し掛かった感さえある状況にあります。

そのような環境の中、創業55周年を迎える当社は、長期戦略「ONE DUSKIN」の第2フェーズ「中期経営方針2018」の初年度の各種取り組みをスタートさせております。

当第1四半期は、訪販グループ（2018年4月1日より「クリーン・ケアグループ」から改称）、フードグループ共に減収となり、連結売上高は前年同期から8億17百万円（2.0%）減少し394億1百万円となりました。利益面につきましては、減収に伴う粗利の減少があったものの、原価率が改善したことや販売促進費、退職給付費用等の経費が減少したことにより増益となり、連結営業利益は前年同期から5億19百万円（28.9%）増加し23億15百万円、連結経常利益も5億27百万円（23.0%）増加し28億19百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期から2億37百万円（14.8%）増加し18億48百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2018年3月期第1四半期)	当第1四半期 (2019年3月期第1四半期)	増減	
			増減	増減率 (%)
連結売上高	40,218	39,401	△817	△2.0
連結営業利益	1,795	2,315	519	28.9
連結経常利益	2,292	2,819	527	23.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,611	1,848	237	14.8

<セグメント毎の状況>

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2018年3月期第1四半期)	当第1四半期 (2019年3月期第1四半期)	増減	
			増減	増減率 (%)
訪販グループ	28,181	27,950	△230	△0.8
フードグループ	9,169	8,503	△665	△7.3
その他	3,617	3,739	122	3.4
小計	40,968	40,194	△774	△1.9
セグメント間取引消去	△749	△792	△43	—
連結売上高	40,218	39,401	△817	△2.0

※各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2018年3月期第1四半期)	当第1四半期 (2019年3月期第1四半期)	増減	
			増減	増減率 (%)
訪販グループ	3,335	3,581	246	7.4
フードグループ	89	70	△18	△21.1
その他	103	144	40	38.8
小計	3,528	3,796	267	7.6
セグメント間取引消去 及び全社費用	△1,732	△1,480	252	—
連結営業利益	1,795	2,315	519	28.9

※各セグメントの営業利益には、セグメント間の取引を含んでおります。

①訪販グループ

訪販グループの売上高につきましては、事業所向けダストコントロール商品が前年同期並みに留まったものの、家庭向けダストコントロール商品が減少したことにより、前年同期から2億30百万円（0.8%）減少し279億50百万円となりました。営業利益につきましては、減収に伴う粗利の減少があったものの、レンタル製品投入減少等による売上原価の減少及び販売促進費、退職給付費用の減少等により、前年同期に比べ2億46百万円（7.4%）増加し35億81百万円となりました。

家庭向けダストコントロール商品は、55周年キャンペーンとして商品の無料体験により新規顧客獲得に注力し、また事業を横断した割引クーポンチラシを配布する等、売上増加を目指しました。売上につきましては「おそうじベーシック3」（フロアモップ「LaLa」、ハンディモップ「shushu」、「スタイルクリーナー」のセット商品）や寝具販売の売上増があったものの、その他のモップ商品や、「ロボットクリーナーSiRo」、台所用スポンジ等の売上が減少したことにより、家庭向けダストコントロール商品全体では前年同期を下回りました。

事業所向けダストコントロール商品は、演出力の高い屋内専用オーダーメイドマット「インサイド」は引き続き順調に推移し、また当期発売した芳香剤「芳香ファン」の売上が寄与したことや、空間清浄機「クリア空感」の売上増があったものの、その他のマット商品やモップ商品、浄水器関連商品の売上が減少したこと等により、全体では前年同期並みとなりました。

役務提供サービスにつきましては、「サービスマスター（ハウスクリーニング等プロのお掃除サービス）」「メリーメイド（家事代行サービス）」「ターミニクス（害虫駆除・予防サービス）」「トータルグリーン（植栽の管理・維持サービス）」「ホームリペア（住まいのピンポイント補修サービス）」いずれもお客様売上が増加し、全体の売上高は前年同期を上回りました。また当期はサービス提供体制の強化の一環として加盟店を増やすことに注力しており、順調に加盟店数は増加しております。

訪販グループのその他の事業につきましては、展示会等の屋内イベント、スポーツイベントの受注が好調に推移したレントオール事業を始め、介護用品レンタルが引き続き好調を維持したヘルスレント事業（2018年4月1日よりレントオール事業より分離）、ユニフォーム関連事業は増収となりましたが、化粧品関連事業、高齢者向け生活支援サービスのライフケア事業（2018年4月1日より「ホームインステッド事業」から改称）は、減収となりました。

②フードグループ

フードグループの売上高につきましては、不採算店舗のクローズによる稼働店舗数減少の影響を受けてミスタードーナツのお客様売上が減少したことを主因に、ロイヤルティ収入、加盟店への原材料売上共に減少した結果、前年同期から6億65百万円（7.3%）減少し85億3百万円となりました。営業利益につきましては、減収に伴う粗利の減少等により、前年同期から18百万円（21.1%）減少し70百万円となりました。

フードグループの主力であるミスタードーナツは、ブランドスローガン「いいことあるぞ Mister Donut」のもと、前期に引き続き、最高水準の素材と技術を持ったブランドと共同開発した商品展開「misdo meets」と、朝食やブランチ、ランチタイム等おやつの間時間帯以外でも楽しんでいただけるブランドへと進化すべく、「ミスドゴハン」をキーワードにした軽食事メニューの販売に注力しました。4月は、前期好評であった京都宇治茶専門店祇園辻利の宇治抹茶を使用した「抹茶スイーツプレミアム」を発売し、当期も多くのお客様に好評をいただきました。5月にはパイやホットドッグ、パスタ等「ミスドゴハン」のメニュー改定を行い、他にも、ミスタードーナツの季節定番商品である「クロワッサンドーナツ」や新食感の冷たいスイーツ「コットンスノーキャンディ」等を発売した結果、稼働店1店当たりの売上は前年同期を上回りました。しかしながら稼働店舗数の減少影響が大きく、全店お客様売上は前年同期を下回る結果となりました。

その他のフード事業につきましては、とんかつレストラン「かつアンドかつ」、パイ専門店「パイフェイス」が新規出店により増収となりましたが、大型ベーカリーショップ「ベーカリーファクトリー」、シフォンケーキ専門店「ザ・シフォン&スプーン」は減収となりました。また前期末にカフェデュモンド事業から撤退した影響により、その他のフード事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

③その他

その他につきましては、国内連結子会社のリース及び保険代理業を手掛けるダスキン共益株式会社の売上高は前年同期並みとなり、病院施設のマネジメントサービスの株式会社ダスキンヘルスケアは増収となりました。一方、海外につきましては、台湾向けミスタードーナツ原材料の取扱量が減少した楽清香港有限公司（原材料及び資器材の調達）が減収となりましたが、Big Appleグループ（マレーシア最大のドーナツチェーン）が増収となった他、事業所向けダストコントロール商品が順調に推移した楽清（上海）清潔用具租賃有限公司が増収となったこと等により、海外全体でも増収となりました。その結果、その他の売上高は前年同期から1億22百万円（3.4%）増加し37億39百万円となりました。営業利益につきましては、ダスキン共益株式会社が減少したものの、株式会社ダスキンヘルスケアが増加したことや海外事業における営業損失が減少した結果、前年同期から40百万円（38.8%）増加し1億44百万円となりました。

海外お客様売上は、訪販事業につきましては、台湾、中国（上海）、韓国は前年同期を上回りました。ドーナツ事業につきましては、タイ、インドネシアは順調に推移しておりますが、台湾、中国（上海）、フィリピンは減少しました。またマレーシアを中心に展開しているBig Appleグループは増加しました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産残高は、1,918億44百万円となりました。前連結会計年度末（以下「前期末」という。）と比較して42億13百万円減少しております。その要因は、現金及び預金が7億37百万円、商品及び製品が5億73百万円増加したことに対し、有価証券が39億37百万円、繰延税金資産が25億16百万円減少したこと等であります。

負債残高は392億21百万円となり、前期末と比較して90億50百万円減少しております。その要因は、退職給付に係る負債が52億86百万円、賞与引当金が17億64百万円、未払金が12億35百万円減少したこと等であります。

純資産残高は1,526億23百万円となり、前期末と比較して48億36百万円増加しております。その要因は、退職給付に係る調整累計額が35億46百万円、その他有価証券評価差額金が6億44百万円増加したこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）通期及び第2四半期累計期間の業績予想につきましては、2018年5月15日に公表した従来の予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,846	19,584
受取手形及び売掛金	9,950	9,975
リース債権及びリース投資資産	1,326	1,317
有価証券	24,461	20,524
商品及び製品	7,738	8,312
仕掛品	142	170
原材料及び貯蔵品	1,598	1,455
その他	3,585	3,863
貸倒引当金	△37	△39
流動資産合計	67,611	65,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,486	43,610
減価償却累計額	△26,490	△26,717
建物及び構築物 (純額)	16,996	16,893
機械装置及び運搬具	24,975	25,251
減価償却累計額	△18,484	△18,615
機械装置及び運搬具 (純額)	6,491	6,636
土地	22,750	22,702
建設仮勘定	178	243
その他	12,405	12,593
減価償却累計額	△9,478	△9,701
その他 (純額)	2,927	2,891
有形固定資産合計	49,344	49,366
無形固定資産		
のれん	549	547
その他	7,925	8,101
無形固定資産合計	8,474	8,648
投資その他の資産		
投資有価証券	60,523	61,015
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	3,073	557
差入保証金	5,751	5,732
その他	1,310	1,387
貸倒引当金	△34	△28
投資その他の資産合計	70,627	68,665
固定資産合計	128,446	126,680
資産合計	196,058	191,844

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,834	6,404
短期借入金	173	171
未払法人税等	1,403	232
賞与引当金	3,397	1,633
資産除去債務	18	18
未払金	8,112	6,876
レンタル品預り保証金	9,314	9,263
その他	4,731	5,613
流動負債合計	33,985	30,213
固定負債		
退職給付に係る負債	12,882	7,595
資産除去債務	578	585
長期預り保証金	788	785
長期未払金	18	23
その他	18	17
固定負債合計	14,286	9,008
負債合計	48,271	39,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,352	11,352
資本剰余金	11,087	11,092
利益剰余金	120,519	121,299
自己株式	△3,571	△3,569
株主資本合計	139,388	140,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,878	10,522
繰延ヘッジ損益	1	12
為替換算調整勘定	△54	△140
退職給付に係る調整累計額	△1,798	1,747
その他の包括利益累計額合計	8,026	12,142
新株予約権	9	9
非支配株主持分	361	295
純資産合計	147,786	152,623
負債純資産合計	196,058	191,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	40,218	39,401
売上原価	22,178	21,244
売上総利益	18,040	18,156
販売費及び一般管理費	16,244	15,840
営業利益	1,795	2,315
営業外収益		
受取利息	88	76
受取配当金	161	172
設備賃貸料	39	36
受取手数料	43	51
持分法による投資利益	101	78
雑収入	106	149
営業外収益合計	542	566
営業外費用		
支払利息	1	2
設備賃貸費用	13	18
雑損失	31	40
営業外費用合計	45	61
経常利益	2,292	2,819
特別利益		
固定資産売却益	2	2
その他	0	0
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産売却損	89	0
固定資産廃棄損	28	13
減損損失	—	62
災害による損失	0	—
その他	0	0
特別損失合計	118	75
税金等調整前四半期純利益	2,177	2,746
法人税等	573	899
四半期純利益	1,603	1,847
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,611	1,848

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,603	1,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,947	644
繰延ヘッジ損益	1	10
為替換算調整勘定	△31	△37
退職給付に係る調整額	105	3,542
持分法適用会社に対する持分相当額	33	△44
その他の包括利益合計	2,057	4,115
四半期包括利益	3,660	5,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,668	5,964
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	訪販 グループ	フード グループ	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高						
外部顧客への売上高	27,978	9,166	3,073	40,218	—	40,218
セグメント間の内部売上高 又は振替高	202	3	543	749	△749	—
計	28,181	9,169	3,617	40,968	△749	40,218
セグメント利益又は損失(△)	3,335	89	103	3,528	△1,732	1,795

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務用機器及び車両のリース、保険代理業、病院のマネジメントサービス及び海外事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,732百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,746百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 上記のセグメント情報は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

なお、のれんの当第1四半期連結累計期間の償却額及び当第1四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	訪販 グループ	フード グループ	その他	全社・消去	合計
当第1四半期連結累計期間償却額	43	—	1	—	45
当第1四半期連結会計期間末残高(注)	538	—	65	—	603

- (注) 1. 当第1四半期連結会計期間末残高の主な内容は、当社及び連結子会社が複数の加盟店から事業譲受した際に発生したのれん残高538百万円（訪販グループ）、2017年2月に取得したBig Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd. ののれん残高65百万円（その他）であります。
2. 上記の報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	訪販 グループ	フード グループ	その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高						
外部顧客への売上高	27,759	8,501	3,139	39,401	—	39,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	190	2	599	792	△792	—
計	27,950	8,503	3,739	40,194	△792	39,401
セグメント利益又は損失(△)	3,581	70	144	3,796	△1,480	2,315

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務用機器及び車両のリース、保険代理業、病院のマネジメントサービス及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,480百万円には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,501百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

なお、のれんの当第1四半期連結累計期間の償却額及び当第1四半期連結会計期間末の残高は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	訪販 グループ	フード グループ	その他	全社・消去	合計
当第1四半期連結累計期間償却額	40	0	3	—	44
当第1四半期連結会計期間末残高(注)	423	30	93	—	547

(注) 当第1四半期連結会計期間末残高の主な内容は、当社及び連結子会社が複数の加盟店から事業譲受した際に発生したのれん残高423百万円（訪販グループ）、30百万円（フードグループ）、2017年2月に取得したBig Apple Worldwide Holdings Sdn. Bhd. ののれん残高93百万円（その他）であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来「クリーン・ケアグループ」としていた報告セグメントの名称を、「訪販グループ」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。